

平成27年度

第10回いわき市教育委員会議事録

平成28年1月27日（水）

## 第 10 回 教 育 委 員 会 記 録

- |   |                |   |   |  |
|---|----------------|---|---|--|
| 1 | 開会年月日          | 平成28年1月27日(水) 午後1時30分   |   |  |
| 2 | 開催場所           | 教育委員室   |   |  |
| 3 | 出席委員           | 教育長<br>教育長職務代理者<br>委員<br>委員<br>委員   | 吉 田 尚<br>馬 目 順 一<br>蛭 田 優 子<br>山 本 もと子<br>根 本 紀太郎   |  |
| 4 | 欠席委員           | な し   |   |  |
| 5 | 説明のために出席した者の氏名 | 教育部長<br>教育部次長兼総合調整担当<br>学校教育推進室長<br>中央公民館長<br>いわき総合図書館長<br>美術館長<br>教育政策課長<br>教育政策課教育施設整備室長<br>文化・スポーツ課長<br>学校教育推進室学校教育課長<br>学校教育推進室学校支援課長<br>総合教育センター所長<br>教育政策課統括主幹兼課長補佐<br>教育政策課長補佐<br>教育政策課教育施設整備室主幹兼室長補佐<br>生涯学習課長補佐<br>文化・スポーツ課長補佐兼文化振興係長<br>学校教育推進室学校教育課長補佐<br>学校教育推進室学校支援課主幹兼課長補佐<br>学校教育推進室学校教育課管理主事<br>教育政策課教育施設整備室主任専門技術員 | 増 子 裕 昭<br>鈴 木 隆<br>松 岡 勇 雄<br>草 野 互<br>夏 井 芳 徳<br>佐々木 吉 晴<br>松 島 良 一<br>猪 狩 孝<br>鈴 木 庄 寿<br>草 野 仁<br>長谷川 政 宣<br>鈴 木 和 美<br>木 村 晴 彦<br>金 成 晃 彦<br>引 地 克 宏<br>藤 原 良 基<br>久 野 征 浩<br>太 則 子<br>柴 藪 聡<br>猪 狩 照 良<br>鰐 健 一 |  |
| 6 | 書 記            | 教育政策課主任主査兼総務係長  | 草 野 康 弘   |  |
| 7 | 閉 会            | 午後2時05分   |   |  |

## 会議の概要

**教育長** ただいまから、平成 27 年度第 10 回いわき市教育委員会を開催いたします。欠席委員の通告は、ありません。書記には、草野主任主査兼総務係長を任命します。会期は本日限りとします。議事録への署名委員は、本日出席された委員のみなさまにお願いいたします。

6 その他に移ります。その他(1)平成 28 年度いわき市奨学資金奨学生募集について、学校教育課長をお願いします。

**学校教育課長** 1 ページをご覧ください。 その他(1)平成 28 年度 いわき市奨学資金奨学生募集について

奨学資金の貸与であります。応募資格は、高校、高専、大学又は専修学校に在学し、品行が正しく学業成績が優秀であること。市内に1年以上住所を有すること。経済的な理由により就学が困難と認められる者。他団体から奨学金の貸与または支給を受けていないこととなっております。

募集人数及び貸与額は、高等学校 2 名程度 月額 20,000 円、高専 3 名程度 月額 29,000 円、大学等 2 3 名程度 月額 40,000 円です。

なお、募集定員については、貸与終了となる奨学生と次年度貸付者とのバランスを保ち、今後の新規貸付者の平準化に支障が出ないようにすること、高校生及び高専生については、これまでの数の水準を保つこと、大学生については前年度より増加したことから平成 27 年度募集枠の 18 名から 23 名へ増としました。

募集期間は、平成 28 年 2 月 15 日（月）から 3 月 31 日（木）です。

申込書は、市内高校、高専、短大、大学や各支所、市民サービスセンター、公民館等へ送付いたします。

さらに、広報いわき、ホームページ、報道機関への投げ込み、まちなか情報発信施設、多目的大型表示盤でも広報いたします。

採用の決定は、平成 28 年 4 月開催予定のいわき市奨学生選考委員会において決定されます。

説明は、以上です。

**教育長** ただいまの説明に対して、質問ございますか。

**委員** 昨年度の委員会でも申し上げたのですが、給付型の奨学資金の考えはないでしょうか。少額でもよいので、市内の企業などから賛同を募って少しでも給付できるよう

な形の奨学金をつくれたらいいと思います。

**学校教育課長** 委員からご指摘のとおり、昨年度の委員会において給付型につきましては、今後調査、研究してまいりますとお話をしたところであります。今般、市長部局の地域創生課からも今後、給付型を検討していきましょうという話があり、県の話の聞きに行ってきたところです。教育委員会単独あるいは、地域創生課を巻き込んだ形での給付型につきましても検討していかなければならないと考えております。

**教育長** その他ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**教育長** なければ次に進みます。その他(2)平成28年成人式の実施結果について、生涯学習課長補佐お願いします。

**生涯学習課長補佐** 資料2ページをお開きください。平成28年成人式の実施結果でございます。平成28年成人式につきましては、平成28年1月10日の日曜日、午前11時30分から市内13地区で実施いたしました。平成9年より市内13地区の会場で実施するようになってから、今回で20回目になりますが、新成人3,574人に対しまして出席者が2,785名、出席率は77.92%ということで、昨年より0.74%減となっておりますが、例年並みの出席率でございました。近隣の自治体では、例えば、水戸市では成人式に警察が出動するなど全国的には荒れた成人式という報道が見られましたが、本市においては、どの地区においても大きな混乱はなく終了しております。

なお、平成13年から開催日を成人式の祝日の前日3連休の中日に設定して、成人が出席しやすくしたほか、各実施地区の成人等により実行委員会を組織しまして、各13地区で趣向を凝らした記念行事を実施しております。

今後も引き続きより良い成人式の実施に努めてまいりたいと考えております。

説明は以上です。

**教育長** ただいまの説明に対して、質問ございますか。

**委員** 成人式を行う趣旨についてお伺いします。

**生涯学習課長補佐** 成人になった意義を自覚し、自らたくましく生きようとする若者の新

たな門出を、地域を挙げて祝福するという趣旨で実施しているものです。

**委員** 実は先ほど、生涯学習課にお電話差し上げましてお尋ねしたところですが、実行委員の構成について、それから出席者の方々について、各地区において違うということ、公民館の判断も加わって、各地区で趣向を凝らした式になっているとお伺いしました。ですから、単位は公民館単位なのかなと考えました。

そこでお尋ねしますが、出席者の中に、列席希望の保護者を入れることは可能でしょうか。

**生涯学習課長補佐** 保護者の列席については、各地区で取扱いが異なっております。今回については、13 地区のなかで6 地区、四倉、小川、三和、田人、川前、久之浜については、保護者の方の列席を可としています。

保護者の方の列席を可とするかどうかは、各実行委員会ですとされ、諸条件がクリアできれば大丈夫だと思います。

一番のネックになるのは、会場のスペースの問題です。平、小名浜、勿来などの大きい地区は会場の問題で保護者の方をお入れしてというのは物理的に難しいというのがあるかと思います。そのあたりがクリアできるのであれば、あとは実行委員や実行委員をフォローする公民館とのやり取りの中で検討できると思いますので、そういうご意見があれば実行委員にお声かけいただければと思います。

**委員** 成人式というものを考えてみると、一方で子どもが大人として扱われ、権利や義務が発生するというのを祝いする式であります。保護者からみれば子育てとしての卒業式でもあると考えます。義務教育の中で学習発表会や運動会などは多忙のため出席できないという保護者の方もいるかもしれませんが、小学校・中学校・高校の卒業式に出席しなかったという保護者の方は、珍しいのではないかと考えます。

数年前、私の長女が二十歳で、公民館で成人式に参加しました。私が車で送って行って何名かの父兄が外で待っていたので、私が公民館長に中に入れませんかと聞いたんですが、教育委員さんは入っていいですよと言われたんですが、他のたくさんの方が寒い中車の前で待っているんですよ。そんな中、私だけ入ることはできませんでした。その時私は、成人式を迎える子どもたちを育てたのは私たちなのに、なぜ祝う式に保護者が入れてもらえないのかなとすごく不思議に思いました。希望する保護者には、子どもを育てた私たち親の卒業式に参加できるように考えていただけないかなと思います。

一番のネックとおっしゃった、会場の狭さですが、それなら、地区を多くに分けて

はどうでしょうか。親の意識も変わってきていると思います。

本来であれば、来年成人を迎える保護者に聞いてみたいと思うんですが、教育委員会としては難しいと思いますので、例えば中学3年生の保護者に、子どもが来年成人式を迎えるとしたら保護者として出席したいかどうかアンケートをとってみてはどうかと思います。それで保護者の気持ちがあつかめるのかなと思いますけどどうでしょうか。

**生涯学習課長補佐** できる、できないの即答は難しいと思います。保護者に対するアンケートはこれまで行ったことはありません。主人公は成人というスタンスで取り扱ってアンケートを行ってきたところでもあります。委員のお話があったようにお子さんとの関係など、どのような形でやるのが効果的なのか、保護者の意見が反映できるのか、調査研究させてもらいながら、アンケートができるのか今後検討させていただきたいと思います。

**教育長** 私は、3年連続で平地区の成人式に出席しましたが、13年間実行委員会に携わってきた方に聞いてみたところ、今年は13年間で1番きちんとしていたとのことでした。

例えば小さなところは、担任の先生が参加するなどの企画があったりして、少人数なのできちんとした成人式が行われていると思いますが、平地区当たりでみると昨年までは、最前列で式典の最中にゲームをして大騒ぎしていたりという姿がみられましたが、今年は大変立派な成人式で驚いたという話もあります。

あまりにもひどい姿を見ると、成人式そのものが必要なのかどうかというところまでいってしまいますので、毎年各地区の状況が集約されて整理されていると思いますので、委員の発言もありましたので、検討いただきたいと思います。

**教育長** その他ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**教育長** それでは、その他(3) いわき市立草野心平記念文学館 平成27年度 文芸講演会「川端康成と草野心平 二人の作家の『戦後』」の開催について、文化・スポーツ課長をお願いします。

**文化・スポーツ課長** 資料3ページをお開きください。その他(3) いわき市立草野心平記念文学館 平成27年度 文芸講演会「川端康成と草野心平 二人の作家の『戦後』」の開催についてでございます。

今年度の文芸講演会の講師ですが、ノーベル文学賞受賞者川端康成氏の娘婿でロシ

ア文学者の川端香男里氏でございます。香男里氏は東京大学文学部ロシア語ロシア文学専修課程の教授をはじめ、川端康成記念会の理事長も務めるなど、文学全般に造詣が深く、文学の、そして川端康成と草野心平の魅力にもふれる講演内容となっております。開催日時等詳細は、記載のとおりでございます。説明は以上です。

**教育長** ただいまの説明に対して、質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

**教育長** なければ次に進みます。その他(4)次回教育委員会の開催について、教育政策課長をお願いします。

**教育政策課長** 次回の教育委員会の開催は2月10日水曜日、午前9時からとなっております。

**教育長** 以上で平成27年度第10回教育委員会を閉会いたします。